

キンボールのルール

☆ 1セット内容

- ・キンボール1個、ゼッケン12枚、スコアボード

☆ 所有総数

- ・2セット

☆ 競技内容

- ・カナダで生まれて、今カナダとアメリカの学校などで大人気。従来のスポーツの常識を超えたニュースポーツです。
- ・1つのコートに1チーム4名で3チームが入り、直径122cm、約1kgのボールを使用します。そのボールを「ヒット」「レシーブ」を繰り返して得点を競います。

☆ 主なルール

* キンボールのルール

- ・コートの大きさ「15m～21m×15m～21mとする。」

【ルール】

- ・ピンク、ブラック、グレーの3チームで競う。
- ・あらかじめ各チーム毎にチームカラーを示すゼッケンを着用する。
- ・各チームのキャプテンがじゃんけんをし、勝ったチームがサーブ権を得る。
- ・試合の開始は審判の合図(笛)により開始します。
- ・コートの中央でサーブチームの3名(サーバー以外の全員)がボールを支え、残りの1名がサーブ(手または腕のみ使用)する。
- ・サーブはサーブチームの1名が必ず「オムニキン」と言い、続いて「レシーブチームの色」をサーブ前に大きな声でコールしてからサーブする。
(必ずしもサーバーが言う必要はない。オムニキンと色は別々の人がコールしても良い。)
- ・サーブされたボールは指定された色のチームが床に落ちる前にレシーブ(全身使用可)する。
- ・レシーブした後、ボールを持って走ることもチームメイトにパスすることもできる。
- ・サーブ・レシーブに失敗すると、失敗したチーム以外の2チームに1点ずつ加算される。
- ・ゲームの再開は、レシーブ失敗・反則をしたチームがサーブをして再開。
- ・ゲーム途中でもタイムキーパーの合図でセット終了。
- ・第2セット、第3セットスタート時は、前のセットまでの得点の低いチームが、サーブ権を得る。同点の場合はじゃんけんを決める。
- ・3セットし、ゲーム終了。

【反則】

《サーブ時》

- ・サーブの瞬間、味方のメンバー全員ボールに触れていなければならない。
- ・1人が続けて2回サーブできない。
- ・サーブは床と平行以上の角度でボールを1.8m以上飛ばさなければならない。
- ・審判にも聞こえない小さなコールの場合。

《レシーブ時》

- ・レシーブした後、ボールを持って走ることもチームメイトにパスすることもできるが、3人目がボールに触れたらその場から動かすことはできない。
- ・1人目がレシーブの為にボールに触れてから、10秒以内に3人目がボールに触れなければならない。
- ・レシーブするチームの3人目がボールに触れた後は、5秒以内にサーブしなければならない。
- ・ボールを両腕に抱え込んで持ってはならない。
- ・レシーブの瞬間、コートの外に出てはならない。
- ・上記反則を犯した場合、他の2チームに1点が与えられる。